



2018年3月期第2四半期 補足説明資料

株式会社 F F R I (東証マザーズ : 3692)
<http://www.ffri.jp>



会社概要

会社概要

会社名： 株式会社 F F R I (FFRI, Inc.)

所在地： 東京都渋谷区恵比寿1-18-18 東急不動産恵比寿ビル4階

役員： 代表取締役社長 鵜飼 裕司
取締役最高技術責任者 金居 良治
取締役最高財務責任者 田中 重樹
社外取締役（監査等委員） 下吹越 一孝
社外取締役（監査等委員） 高橋 郁夫
社外取締役（監査等委員） 松本 勉

設立： 2007年7月3日

資本金： 285,578,500円（2017年10月31日現在）

事業内容： 1. コンピュータセキュリティ研究、コンサルティング
2. ネットワークシステムの研究、コンサルティング、情報提供、教育
3. コンピュータソフトウェア及びコンピュータプログラムの企画、開発、販売、リース、保守、管理、運営及びこれらに関する著作権、出版権、特許権、実用新案権、商標権、意匠権等の財産権取得、譲渡、貸与及び管理
4. 上記事業に関連する一切の業務

2014年9月30日 東証マザーズ上場

設立の経緯

国内に研究開発企業が不在

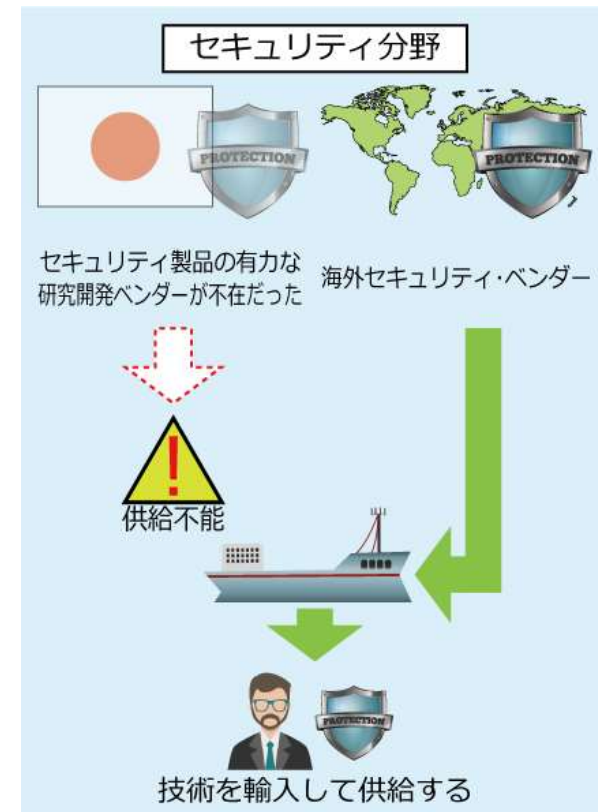
標的型攻撃を含む
未知の脅威の拡大

自国で問題解決できないリスク

国産の対策技術の必要性



□ これまで日本は対策技術を海外からの輸入に頼っていた





社名とコーポレートマークに込めた思い

- 「FFRI」は、「**F**ourteen**f**orty **R**esearch **I**nstitute」の略称
- 「1440」は、スノーボード・ハーフパイプ競技におけるジャンプの回転数に由来
- 設立当時、4回転ジャンプできる競技者が存在せず、前人未到の領域への挑戦を志し、「1440（360°×4回転）」を社名に採用

Fourteenforty Research Institute



FFRI

コーポレートマークにも「1440」の文字とスノーボードの回転をイメージした矢印で、設立当初から変わらない「未踏の分野への挑戦」を表現



コーポレートマーク

世界トップレベルのセキュリティ・リサーチ・チームを作り、
コンピュータ社会の健全な運営に寄与する



業績説明

業績サマリー

- 売上高：主力製品のFFRI yaraiの売上は前年同期比51.4%増
 セキュリティ・プロダクトの売上は全体として計画線上で推移
 個人向け製品は既存契約の継続売上が当初計画に対し上振れして推移

(単位：百万円)

区分	2017/3 2Q (単体)	2018/3 2Q (連結)	増減比 (%)
売上高	586	780	33.0
営業利益 (利益率：%)	32 (5.5)	100 (12.9)	212.7
経常利益 (利益率：%)	32 (5.6)	100 (12.9)	207.1
親会社株主に帰属する四半 期純利益/四半期純利益 (利益率：%)	29 (5.1)	87 (11.2)	193.8

(注) 当社は、2017年4月3日に初めての連結子会社となるFFRI North America, Inc. を設立しております。
 このため、2017/3 2Qは単体の業績数値、2018/3 2Qは連結の業績数値を記載しております。

業績サマリー（売上の内訳）

（単位：百万円）

区分		2017/3 2Q (単体)	2018/3 2Q (連結)	増減比 (%)	
国内	法人	製品	362	498	37.6
		サービス	41	42	1.6
	個人		182	238	30.5
	小計		586	779	32.9
海外	法人	製品	—	0	—
合計		586	780	33.0	

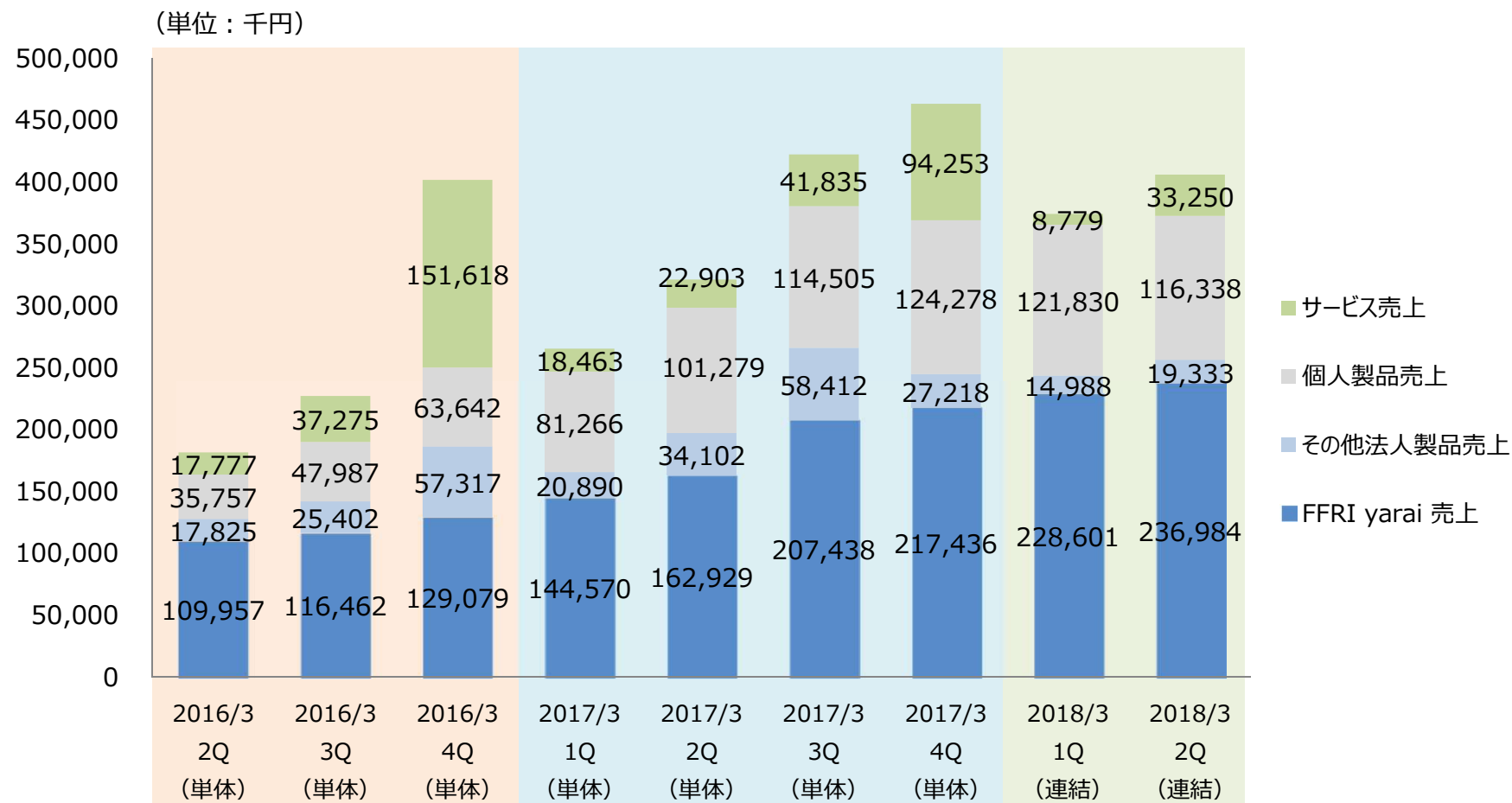
- 法人製品：主にFFRI yarai の販売増加により増加。業種別導入数の前年同四半期比では金融、自治体・団体のその他官公庁、運輸の順で重要インフラ指定業種での導入が増加。

- 個人製品：Android端末向け「FFRI安心アプリチェッカー」の継続利用者が想定より上振れして推移。イクス社経由での販売開始の影響は3Q以降の見込み。

（注）当社は、2017年4月3日に初めての連結子会社となるFFRI North America, Inc. を設立しております。このため、2017/3 2Qは単体の業績数値、2018/3 2Qは連結の業績数値を記載しております。

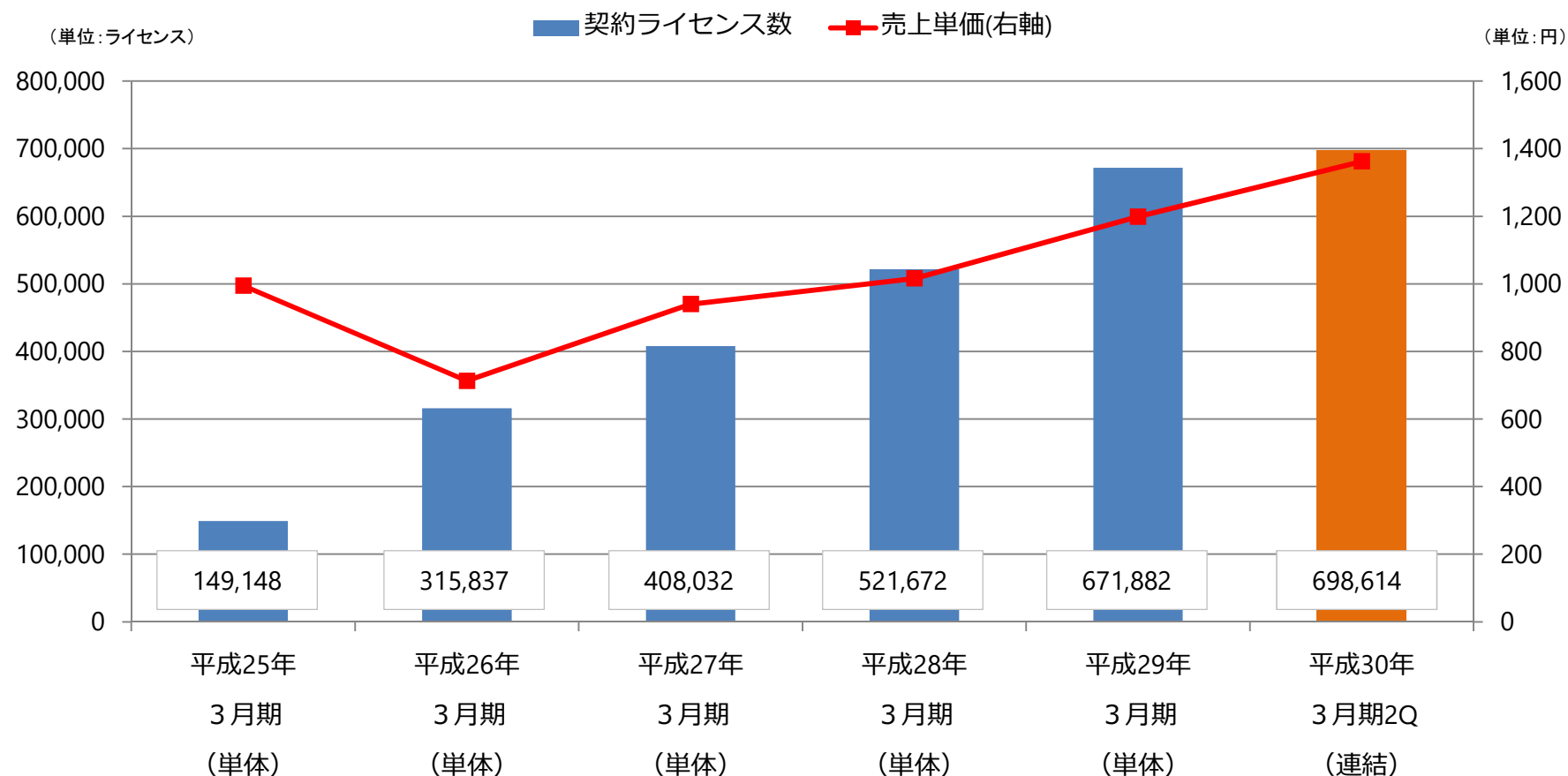


区分別四半期会計期間毎の売上推移



契約ライセンス数及び売上単価の推移

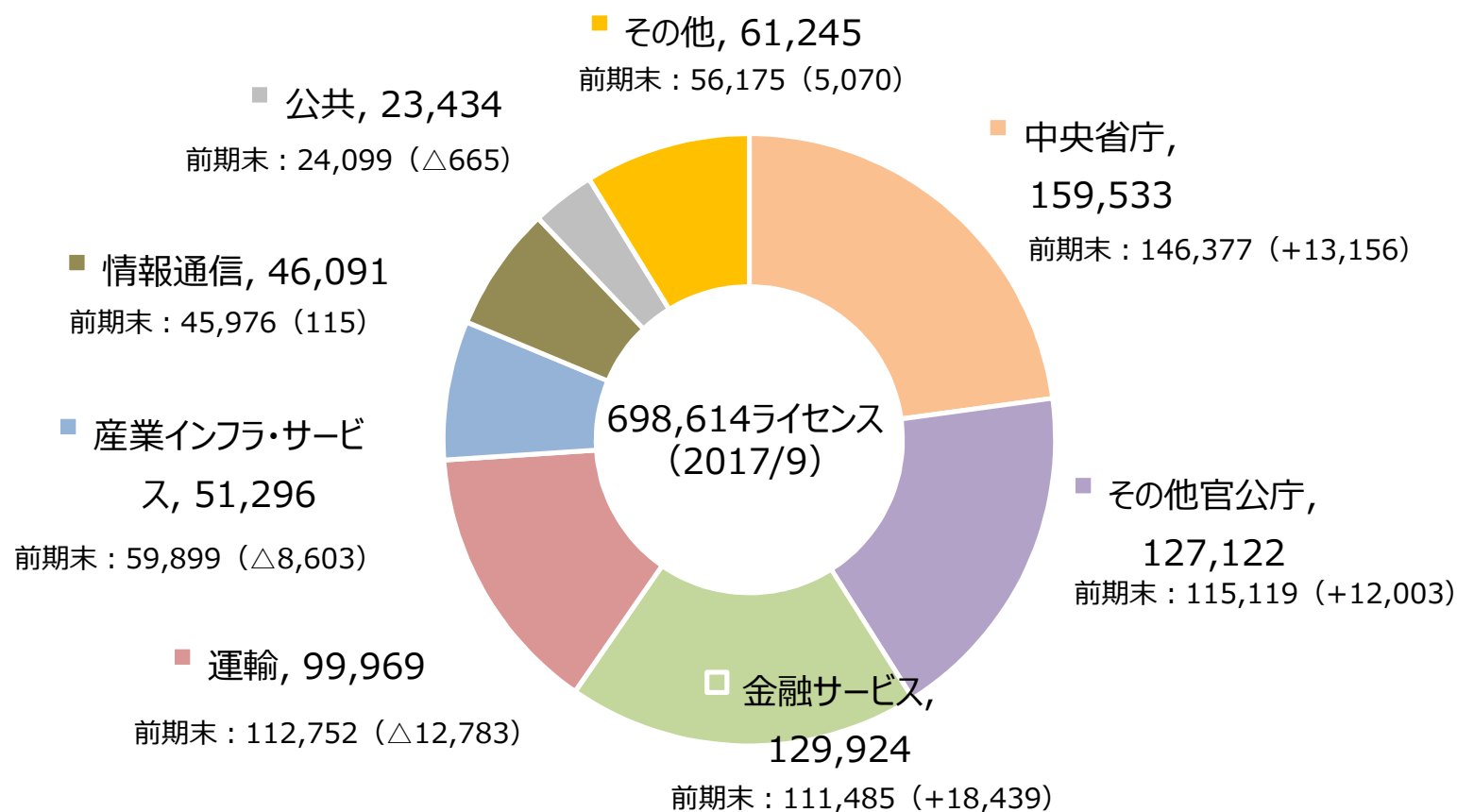
FFRI yaraiシリーズ





業種別契約ライセンス数

FFRI yaraiシリーズ



原価及び販管費の内訳

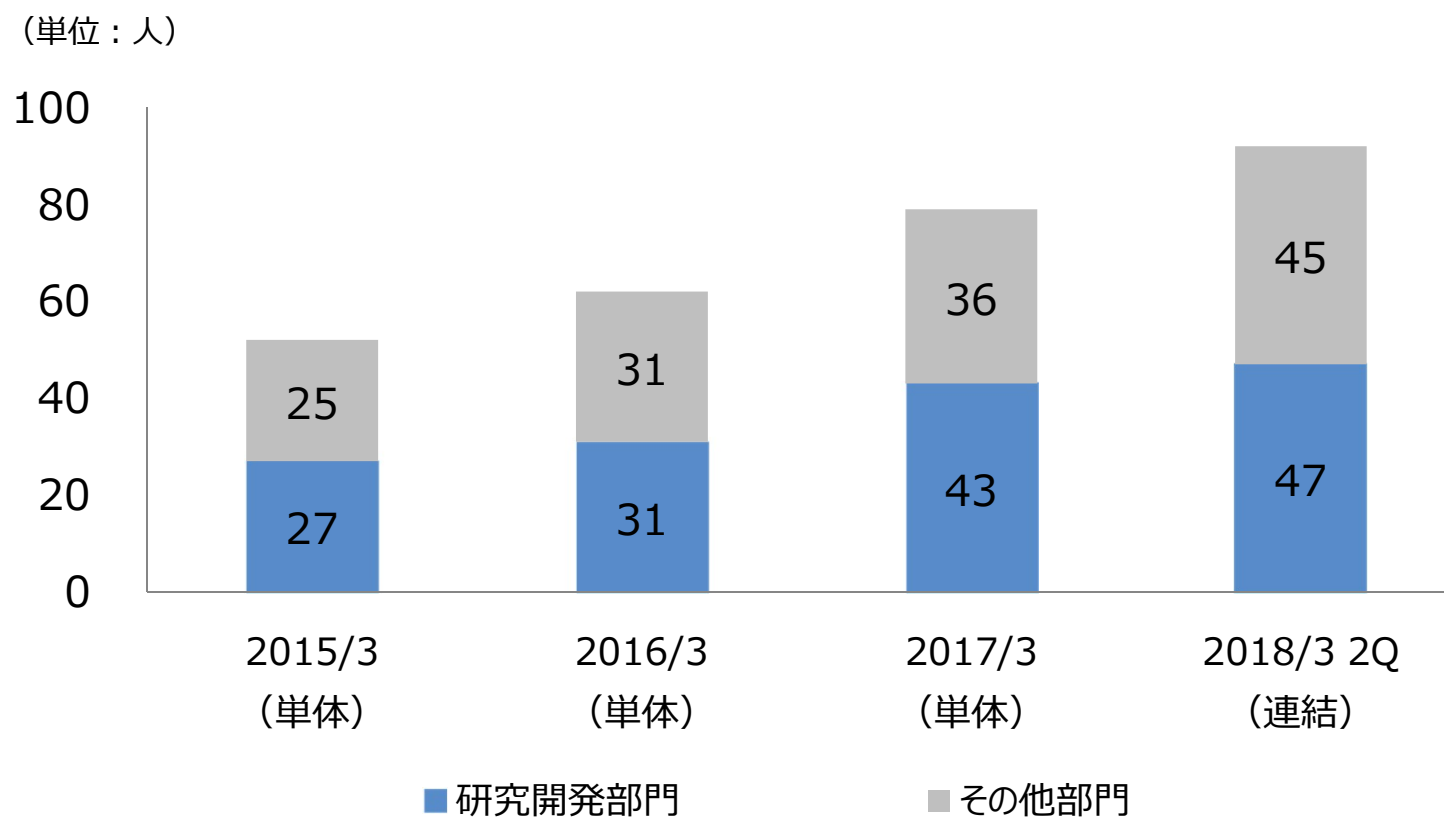
(単位：百万円)

費用の種類	2017/3 2Q (単体)	2018/3 2Q (連結)	増減比 (%)
労務費	107	135	26.1
経費	43	43	△1.5
期首・期末棚卸及び 他勘定振替	△66	△89	—
研究開発費への振替	△59	△51	—
ソフトウェアへの振替	△2	△25	—
その他の振替	△4	△11	—
売上原価合計	84	89	5.8
人件費	155	234	40.3
研究開発費	61	51	△15.7
販売手数料	141	183	30.0
その他	111	119	22.6
販管費合計	469	590	25.7

- 人件費：FFRI North America, Inc. における採用を含め人員数が増加。
- 販売手数料：主に個人向け製品の販売に係る手数料。個人向け売上増加に伴い販売手数料も増加。
(個人向け売上に連動)

(注) 当社は、2017年4月3日に初めての連結子会社となるFFRI North America, Inc. を設立しております。
このため、2017/3 2Qは単体の業績数値、2018/3 2Qは連結の業績数値を記載しております。

人員数の推移



業績サマリー（貸借対照表）

（単位：百万円）

区分	2017/3 (単体)	2018/3 2Q (連結)	増減比 (%)
流動資産	1,961	1,996	1.8
現金及び預金	1,754	1,836	4.7
売掛金	131	74	△43.4
固定資産	94	109	16.2
資産合計	2,055	2,106	2.5
流動負債	751	660	△12.0
前受収益	550	548	△0.4
固定負債	423	468	10.6
長期前受収益	412	457	10.9
負債合計	1,174	1,129	△3.9
株主資本	880	976	10.8
利益剰余金	343	430	25.4
純資産合計	880	977	11.0
負債純資産合計	2,055	2,106	2.5

（注）当社は、2017年4月3日に初めての連結子会社となるFFRI North America, Inc. を設立しております。
このため、2017/3は単体の業績数値、2018/3 2Qは連結の業績数値を記載しております。

業績サマリー (C/F)

(単位：百万円)

区分	2017/3 2Q (単体)	2018/3 2Q (連結)
営業活動によるキャッシュ・フロー	602	102
(内訳) 税引前当期純利益	32	100
売上債権の増減額 (△は増加)	115	56
前受収益の増減額 (△は減少)	175	△2
長期前受収益の増減額 (△は減少)	183	44
その他	94	△97
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9	△29
財務活動によるキャッシュ・フロー	28	7
現金及び現金同等物の増減額	621	82
現金及び現金同等物の期首残高	692	1,754
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,313	1,836

- 前受収益及び長期前受収益の増減額：
売上計上額の増加に伴い前受収益及び
長期前受収益の増加ペースは前年同四
半期比で減速。

(注) 当社は、2017年4月3日に初めての連結子会社となるFFRI North America, Inc. を設立しております。このため、2017/3 2Qは単体の業績数値、2018/3 2Qは連結の業績数値を記載しております。

今期の取組み

トピックス

感染を未然に防ぐことの経済性を裏付ける研究結果

東京電機大学 未来科学部情報メディア学科 サイバーセキュリティ研究所 (教授/所長 佐々木良一氏)

「入口対策をしっかり行った方が、対策コストが少なくて済む」

http://www.jssm.net/wp/?page_id=2627
https://japan.zdnet.com/extra/security_vmware_201706/35103308/

入口対策

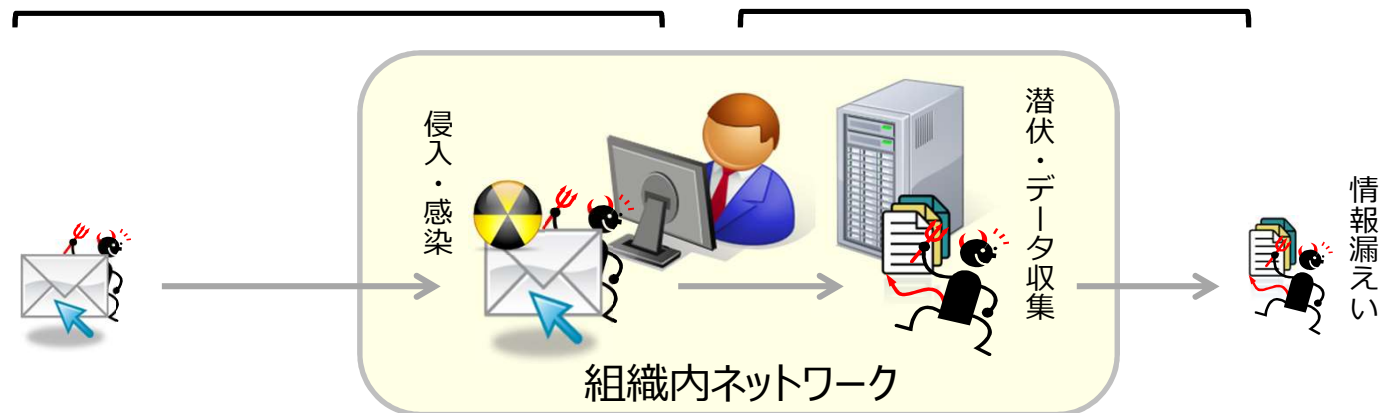
侵入防止・感染防御型

代表的な対策：FFRI yarai ウイルス対策 FW等

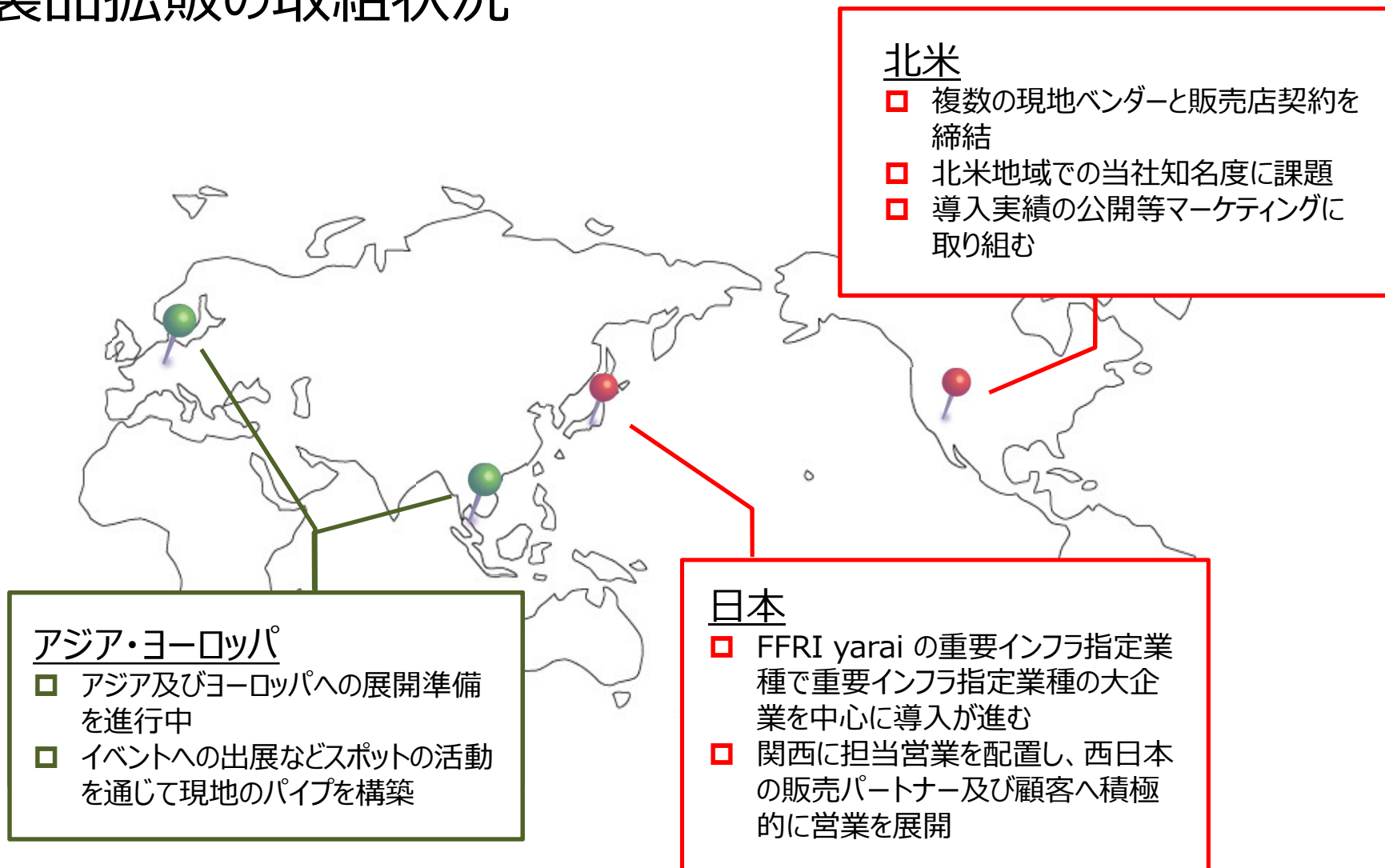
出口対策

検知・状態分析、早期対応型

代表的な対策：EDR ゲートウェイ 監視サービス等

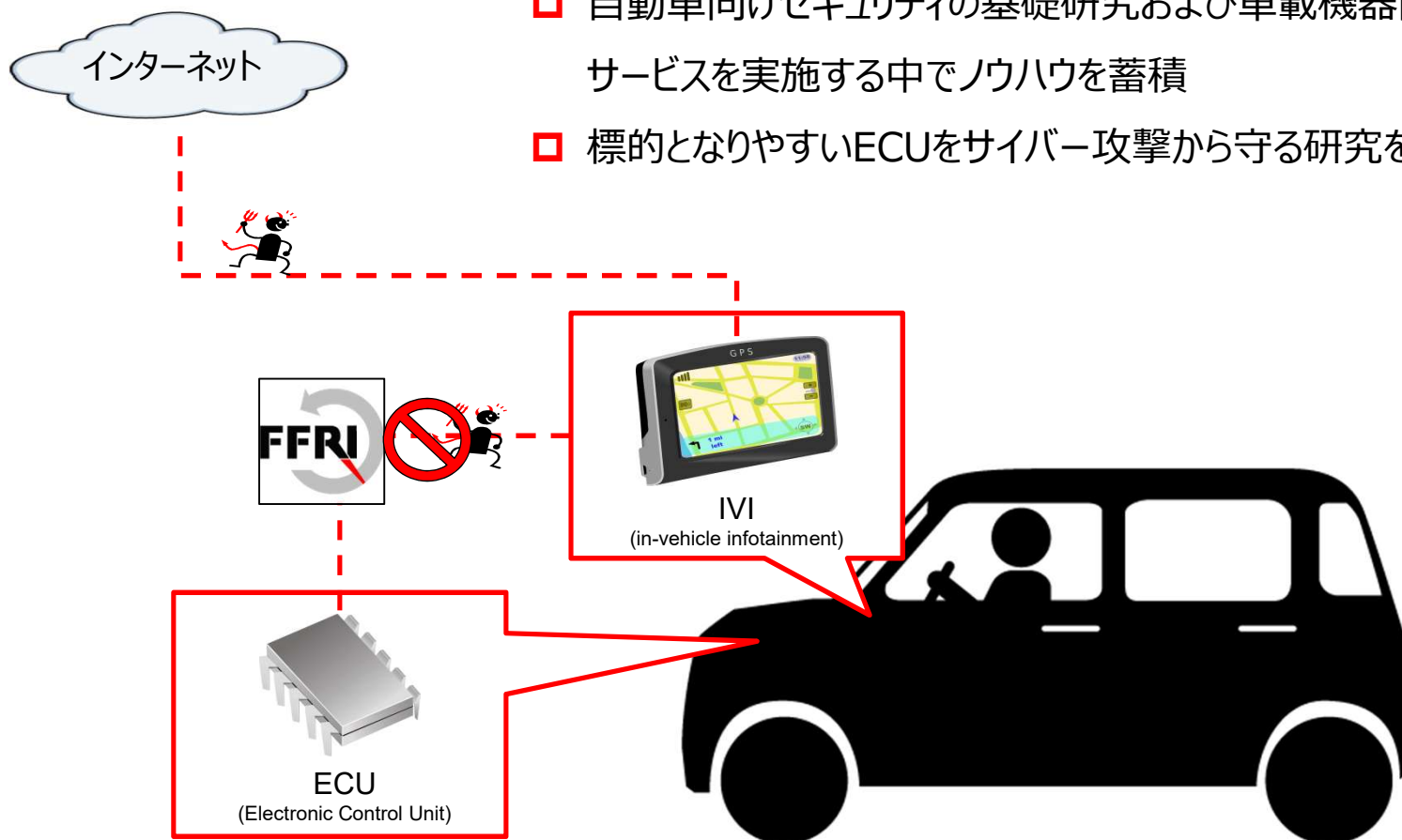


製品拡販の取組状況



車載セキュリティの取組状況

- 自動車向けセキュリティの基礎研究および車載機器向けの検査サービスを実施する中でノウハウを蓄積
- 標的となりやすいECUをサイバー攻撃から守る研究を進める



業績予想

(単位：百万円)

区分	2017/3実績 (単体)	2018/3計画 (連結)	増減比 (%)
売上高	1,471	1,765	20.0
営業利益 (利益率：%)	257 (17.5)	280 (15.9)	8.9
経常利益 (利益率：%)	258 (17.6)	280 (15.9)	8.5
当期純利益 (利益率：%)	271 (18.5)	234 (13.3)	△13.7

(注) 当社は、2017年4月3日に初めての連結子会社となるFFRI North America, Inc. を設立しております。
このため、2017/3実績は単体の業績数値、2018/3計画（連結）は連結の業績数値を記載しております。

業績予想 (売上の内訳)

(単位：百万円)

区分			2017/3 実績 (単体)	2018/3 計画 (連結)	増減比 (%)
国内	法人	製品	873	1,189	36.2
		サービス	177	180	1.7
	個人		421	310	△26.4
	小計		1,471	1,679	14.1
海外	法人	製品	—	85	—
合計			1,471	1,765	20.0

- (注) 1. 当社は、2017年4月3日に初めての連結子会社となるFFRI North America, Inc. を設立しております。
このため、2017/3実績は単体の業績数値、2018/3計画（連結）は連結の業績数値を記載しております。
2. 2018/3より海外販売を開始したため区分を変更し、国内及び海外に分けて記載しております。

<本資料の取り扱いについて>

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済動向及び市場環境や弊社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動する可能性があります。

従いまして、実際の業績が本資料に記載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや不確実性がありますことを、予めご了承ください。